



※この物語はフィクションです。

登場人物紹介

■ 日向忍者学校

校長先生

日向忍者学校第11代目の校長にして、日向忍者部隊第26代部隊長も兼任する。忍者としても「炎猿」のとおり名でその名を轟かせる。生徒の前には、なかなか姿を見せず謎に包まれた部分が多い。

はげてな〜い教頭

校長が不在なことが多いため、日向忍者学校を取り仕切っている。昔はそれなりに優秀な忍者であったが、現在は任務の調整や国の偉い人に気を使ったりと、心労が絶えないため太り気味である。唯一の救いが、まだ「はげて」いないこと。最近の本名を明かすことがなく、本名を知らない者が多かったが、「シンシンの巻」で、本名が「安芸 百八」と分かり、なんと、百乃次の隠し子だったことが判明する。

瞬速のイスケ（担任の先生）

若手教師にして指導のそのほとんどを任される日向の里切っのスピードスター。忍者としても数々の難任務を遂行してきた優秀な忍である。

- 武器 クナイ両手持ち
- 得意技 瞬間移動の術、体術、忍法「五月雨」

風のサッサ（体育担当）

なにを隠そうイケメンである。それ故、女性ファンが非常に多い。忍者としては風のごとくスマートに任務をこなし、特に諜報活動を得意とする。

- 武器 一本刀
- 得意技 闇夜の術、影真似の術

（「屯の書」「協の書」に登場した他の教師陣）

閃光のオキョウ / 月花のオサヤ / 魅惑のモエモエ / 菊のオトク / 高貴なコウキ

■ 他の忍者衆

百乃次一派

かつての日向の里の掟を破ろうとした忍者「百乃次」の一族とその部下たち。掟破りの発覚後、百乃次は捕まり、一族は国外追放となった。この一件を受け、日向の里が属する国「三来国」から、「掟」を徹底教育するよう通達があり、その後同様の事態は起こっていない。

百乃次一派は百乃次が没した後、日向の里や三来国の国から迫害を受け、東の山中に拠点をもちながらも、日向の里を見守り続けていた。「シンシンの巻」では、サッサが捕まった折に駆けつけ、サッサ救出に貢献している。国や里では「本当のこと」を教えていないとも言っており、「マの書」についても、教科書には書かれていない「なにか」を知っているようだ。

（「協の書」に登場した百乃次一派）

陣風のコウ（安芸 百康） / 夢幻のウネ

根来衆（根来忍者）

かつて第一次忍大戦のおり日向忍者と対決した忍者たち。現在は平和条約が結ばれているため対立はしていないが、日向の里の中ではいまだ敵対視する声が多く、根深い。土遁の術を得意とする。

謎の忍衆

「マの書」を狙っており、その調査に来た「風のサッサ」を捕まえた忍者衆。その人数や戦力などの実態は謎に包まれているが、「現在、日向の里に大人の忍者がいない」ことを知っている他、サッサを捕まえられる程の実力を持っている。「おやかた様」と呼ばれる人物がいる模様。

